

東京腎臓病協議会

2013年1月15日発行 SSKA増刊通巻7809号〈毎月6回1の日6の日発行〉1971年8月7日第三種郵便物認可

No.195 SSKA

2013 1.25

おもな記事

特集 2013年度都庁予算要請	2
活動のまど	12
施設紹介⑧南青山内科クリニック	16



つばき

 特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

年頭挨拶

自己改革で体力の維持を

NPO東腎協会長 木下

久吉



2013年を迎え、会員及び透析者の皆様、ご家族の方々、また東腎協を取り巻く関係各位の皆様に新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年12月にマニフェストの実現に失敗し、党内抗争のみに終わった民主党政権から、過去の反省に立った自民政権に移り、経済成長、金融、財政政策の構築、外交、東日本大震災の早期対応の強化という積極的政策を打ち出しており、今年度は明るい年になるような予感がいたします。

次に我が東腎協は、昨年12月2日に設立40周年記念祝賀会を無事終了し、この機関誌が皆様のお手元に渡ります頃には、記念事業の重要な用件であります会員の実態調査報告書、記念誌の発行をもって記念事業の終結といたします。事業資金、記念誌発行、祝賀会など、昨年の初めに想定していましたが、以上の成果を得、協議会運営の40年目のリレー走者として、理事共々大変有難く思っております。

これも会員皆様のご支援の賜物であり、また関係施設、団体、協会等々のご協力があったからこそ感謝しております。この誌をかりて心より御礼申し上げます。

さて時代の変化は急テンポで進んでおります。特に会員を含む透析者の高齢化は今までの経験則にない事態が進んでおり、協議会設立時（40年前）は透析者の平均年齢は40歳前後と想定いたしますが、数年しますと平均年齢は75歳となり、全透析者の半数を超える時代となります。データによりますと、その年齢は透析者の半数以上が自宅で横になっているとのことであります。

われわれ協議会の活動の主目標は透析者の生活の質の向上であり、最大の必要性（ニーズ）に對しての対応行動こそ、協議会の価値を決め、会員、透析者の目を我々に向けていただく道と思えます。勿論我々は障害者であり、医療

費、医療費助成制度の堅持は重要課題であります。高齢者の障害は透析者個々の問題であります。高齢化が進みますと、ロコモティブ症候群（運動器症候群）と言われる、高齢者が関節や骨、筋肉などの障害から寝たきりになること）が始まり、通院問題に頭を悩まします。

動けなくなれば、入院、入所も考えねばなりません。残念ながらあと5年もすると透析者の半数の方がこの障害の当事者となります。現在、多数の施設が行っております送迎のこともますます必要となりますが、介護、車椅子の方が増加し、施設側の現在の送迎力では大きな負担となって参ります。また、入院入所するにしても、自己負担の時代が始まります。

障害透析者の最大の課題であります。策としては、通院の必要のない腹膜透析（期限5年程度）や家庭透析もありますが、一部の人のことだと思えます。やはり、送迎は施設側と透析者の協調と理

解が何よりも重要であります。また、施設側は高齢透析者の、運動器症候群に對し、体力維持の強化を指導していただき、協議会は側面から協力することが大きなテーマであります。何よりも大切なことは、自己の体力を老化させない努力です。体をできるだけ動かし脚力をつける努力は、透析者の個人個人の自覚の問題であります。

その方々は送迎問題の必要ありません。施設側も余分な費用がかかりません。このため施設側と患者側に直接的、間接的努力が協議会に課せられた大きな課題であります。

最後に、協議会人事も40周年を期に世代交代の時期に來ました。リレーランナーのバトンタッチであります。新しいスタッフが新しい感覚で、理事の協力の基に責任の自覚を持ち、会員様に一層顔の見える協議会にならなければなりません。また、協議会運営も内外の変化への対応を一層エスカレートしていく事が次の50周年を迎える道と考えます。

会員の皆様には、今後ともご支援ご協力をお願い申しあげ、また皆様のご健勝を祈念し、年初の抱負を述べさせていただきます、ご挨拶といたします。



東腎協結成40周年記念祝賀会

～仲間とともに感謝をこめて～



目次

会長年頭挨拶	表2
40周年記念祝賀会写真／目次	1
特集・2013年度 都庁予算要請	2
活動のまど	12
なかまのたより	14
施設紹介⑧南青山内科 クリニック	16
透析マンガ	20
リレーエッセイ／ 板橋オブザーバー	23
2011年度・慢性透析に 関する資料表	24
30年透析会員のお名前	25
今後の予定／表紙の言葉	26
事務局から／編集後記	27
40周年記念祝賀会写真	表3

2013年度都庁予算要請

主な要請項目と回答について

都庁予算要請は1974年（昭和49年）11月に昭和50年度東京都

予算要請を行い、以来毎年実施しています。この活動はNPO東腎協の今日でも変わることなく、最も重要な位置付けとして、私たちの活動の柱になっております。

また、本年はNPO東腎協第7回総会でご提案させていただきました「第3号議案1、2の心身障害者（児）医療費助成制度、心身障害者福祉手当制度に、新規65歳以上で低所得の障害者も対象としてください」の項目も併せて要請しました。

平成24年8月9日（木）都庁第一庁舎にて、2013年度都庁予算要請の話し合いを持ちましたので以下報告致します。

●当日参加者
・会長 木下 久吉

（あけぼの会）

・副会長 戸倉 振一

（森山友の会）

・次長 岸里 悟（森山友の会）

・理事 榊原 靖夫

（高中腎友会）

・理事 吉澤 正雄（新小岩クリニック友の会・船堀）

・理事 山口 登

（吉祥寺あさひ病院）

・オブザーバー 板橋 俊司

（日野クリニック腎友会）

腎臓病の研究、予防、治療から社会復帰まで含めた腎疾患総合対策の確立のため以下の項目を要請致します。

1. 各種医療費助成制度等の維持継続

要請① 心身障害者（児）医療費助成制度②・難病医療費等助成制度③・心身障害者福祉手当を国の動向にかかわらず堅持継続してください。

回答（保健政策部医療助成課）

心身障害者医療費助成制度は、重度心身障害者の医療の困難性とその経済的な負担が大きいことに

着目して、医療費の公費助成を行っている。平成12年度の各施策の見直しにおいて、限られた資源を緊急性、必要性の高いサービスに重点的に配分するため、負担の公平性、制度間の整合性などの観点から、経済的給付事業の見直しを行い、65歳以上の障害者の方は高齢者施策で対応することを原則としつつ、65歳未満で障害をお持ちになられた方については、65歳

以降の一定の配慮を行うことといたしました。平成12年9月の改正では、65歳以上で新たに障害者になった方には、老人保険制度、現在の後期高齢者制度に加入されることから、本制度の対象外と致しました。今後も継続していきたいと考えています。



質問する榊原行政委員

要請② 心身障害者（児）医療費助成制度心身障害者福祉手当制度に新規65歳以上で低所得の障害者も対象としてく
ださい。

回答（保健政策部医療助成課）

所得保障につきましては、基本的に国の役割と考えております。東京都は年金手当を一層充実すべく、他の自治体と連携して国に要望しているところです。東京都としては、都の役割である就労支援や日常活動の場など、障害者の施策の充実に努めて参ります。障害者福祉手当につきましては、今のところ制度見直しという予定はありません。

意見（東腎協）

この制度は我々透析患者にとつては大変有り難い制度ですが、透析患者自身がまだよく分かっていないという問題があります。この制度を堅持、継続していただきたいと言うことと、65歳で線引きされているこの制度については、昨年の東腎協の総会で、条例改正の請願を議会に提出することを議決

しましたが、行政の方のアドバイス、議会の各政党のご意見を総合しまして、陳情書に変えることにしました。

毎年同じ回答をいただいておりますが、65歳での線引きについても理解出来ません。障害者政策と高齢者政策を同列に扱っているという感じがしてならない。これらは、まったく次元の違う政策で、それを無理矢理どこかの制度に当てはめようとしていることに、少々無理があるのではないかと思います。65歳過ぎて透析導入した隣のベッドの人がマル障制度も福



予算要請する理事

祉手当も受けられない、これはどうやっても説明が付かないという現実的なことがあります。この矛盾と不公平感を、なんとか是正する施策をお願いしたいと思えます。他県ではマル障制度が後退しているところも出てきている中で、東京は堅持、継続を約束していただいて大変感謝しておりますが、不公平感、不合理感、矛盾をなんとか解決していただけるような施策をお願いしたい。

都や23区との話の中で、65歳を過ぎている人は生活設計の資産が形成されているとよく言われますが、実際に65歳以上に透析や重度障害になった人が、どれだけ資産形成が出来ているか、未だにその人数や実態は把握されていません。宜しくお願いいたします。

要請③ 患者自身が医療制度の恩恵を理解していない人が多く見受けられます。東京都の助成制度の意義を、患者はじめ医療機関に徹底して広報ください。

回答（保健政策部疾病対策課）

都としては、人工透析が必要に

なりました都民の方向けに医療費助成のご案内のリーフレットを作成して、透析医療機関、福祉事務所及び区市町村に配布するとともに、ホームページに掲載し、広報に勤めております。

今後ともこれらの手段を利用して、医療制度の普及に努めて参ります。

意見（東腎協）

この医療制度で我々は、自己負担無しで（一部ありますが）透析医療を受けさせていただいて、大変有り難く思っています。しかし、患者の中にはこうした医療制度を知らなくて、当たり前だと思っている人もいます。都の方からこういう制度の中身に関して、広報を徹底していただきたい。

透析導入の時に病院などからこのような制度の説明をして貰えるシステムを作っていたらと思います。ケースワーカーさんがこのような説明をしてくれていますが、大きな病院にしかケースワーカーがいらない。小さな病院クリニックでも、こうした説明が受けられるような方法を講じていただければ有り難いと思います。

2・CKD（慢性腎臓病）について

要請④ 他の自治体ですでに慢性腎臓病（CKD）対策を取り組んでいるように東京都でも予算措置を含めた取り組みを強化してください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

都では、慢性腎臓病CKD対策と致しまして、平成22年度から「WEBサイト ほっとけないぞCKD慢性腎臓病」を運営するとともに、透析導入患者の原因疾患の内、糖尿病性腎症が圧倒的に多いことを鑑みまして、地域の糖尿病の掛かり付け医を対象に、二次保健医療圏毎に慢性腎臓病CKD研修を実施しているところです。

要請⑤ 掛かり付け医から腎臓専門医への連携を強化してください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

都では、平成23年度から糖尿病の掛かり付け医を対象に、二次保

健医療圏毎に慢性腎臓病CKD研修を実施しているところです。

研修内容としては、掛かり付け医が、糖尿病の初期診察時にCKDの進行を見逃すことの無いように、腎臓専門医との連携が必要なタイミング等を始めとして、必要な検査、CKDの症例を取り上げるにより、地域医療の連携を強化していきたいと考えています。

要請⑥ 糖尿病性腎症からの透析患者を増やさないため一層の対策を講じてください。

回答〈医療政策部〉

東京では糖尿病患者の重症化予防とか合併症の予防を事業の目的と致しまして、様々な施策を講じているところです。その中でも、まず糖尿病の現状を把握するため事業の成果を表す指標と致しまして、糖尿病性腎症による新規透析導入率というのを掲げて、年度ごとの導入率を把握するように努めています。その中で、取り組み

と致しまして4つの東京都糖尿病医療連携のツールというものを昨年度作成し、都民の誰もが身近な地域で症状に応じた適正な治療を受けられる医療連携体制を強化しているところです。

今後につきましても、糖尿病患者の掛かり付け医とか専門医、掛かり付けの歯科医、眼科医等と相互に連携して、慢性の合併症治療の医療機能が提供できる体制を確立していきたいと考えております。

要請⑦ 2005年度から共催名義の使用承認を受けている「腎臓病を考える都民の集い」の予算化をしてください。また、東京都の施設を継続して使用させてください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

「腎臓病を考える都民の集い」に関しましては、東京都は東腎協と協定を結びまして、実施の負担を定めさせていただいています。会場準備や講演会の実施につきましては、東腎協に担当していただいて、広報「東京都」やホームページに開催のご案内を掲載すること、区市町村などにポスターを配

布することなどを東京都が担当するということに、定めさせていただいています。現在、予算化の予定はありませんが、今年度は都庁内の大会議場を、来年3月17日の日曜日に使用する予定です。

意見〈東腎協〉

CKD対策は、東腎協としても一番重点的に取り組んでいる活動です。透析患者を増やさない、我々のような苦しみを一人でも少なくしたい、と言うことが、社会貢献に繋がっていくと考えております。

CKDは「新たな国民病」と言われて、潜在的には1300万人、1400万人の隠れた患者がいるといわれています。我々は慢性腎臓病の間に、保存期間を少しでも長くして、透析の苦しみを味わって欲しくないという愛を込めた活動をしているわけです。CKD対策については、もう少し行政の方で危機感と取り組みの強化というものをお考えいただきたい。

他の自治体、尼崎や熊本では、マスコミが取り上げるくらい、行政がしっかり取り組んで、またそれを実績として残しています。3万人近い透析患者を抱える東京都

として、他県に模範になるようなCKD対策をとっていただきたい。それが、医療費の削減や、健康保険の削減にも繋がります。

(尼崎方式のチラシを見て) 尼崎では、3年間で2割の透析患者を減らしています。熊本でも、市役所の中に「健康作り推進課」というのを設置して、2009年の214人から2011年には116人へと54人も新規透析導入者を減らしています。自治体が先頭に立った実績です。

「都民の集い」の予算も2009年にチラシ代と言うことで、30万円出していただいたが、現在は、共催名義だけで予算はありません。会場費が高くて一番大変です。より一層、CKD対策には予算も含めて強化して欲しい。

要請⑧ 増え続ける生活習慣病からの透析導入患者を減らすため、健康診断の無い企業や自営業者、その家族の健診率を高めるための対策をしてください。

回答〈保健政策部健康推進課〉
40歳未満の方の健康診断につき

ましては区市町村の判断によって行われています。

質問〈東腎協〉

CKD対策、糖尿病からの透析導入者が多いという中で、健診で早期発見と言うことが一番重要な問題です。健診率を高めると言うこと、特に企業や各市町村で無料の健診はありますが、大企業は社内で行いますが、中小企業の人達はなかなか行かないという中で、健診を受けずにいて、いつの

3・腎臓病患者の救急医療について

要請⑨ 高齢化が進む慢性腎臓病(CKD)や人工透析による心筋梗塞や脳血管疾患の併発が多いため、人工透析も行える救急医療体制の強化をしてください。

回答〈医療政策部〉

東京都では、救急患者が症状に応じた適切な救急医療を迅速に受けることが出来るよう、東京消防庁や東京都医師会と連携し、救急

間にか腎臓が悪くなつて、透析導入というのが実態です。必ず健診を受けなければならないようなシステムを考えられないでしょうか。

回答〈保健政策部健康推進課〉

事業主健診とか、企業の保健の健診を受ける機会の無い方については、各区市町村で実施している健診を受けるような体制にはなっていますが、家族の健診率については、企業の方で見てもらうような法律でも定められています。

医療体制の充実に努めているところです。平成21年の7月31日には、搬送先の選定が困難な患者を地域で受け止めるという、地域医療の「東京ルール」というものを作っております。これに基づく搬送調整を開始しまして、透析患者を始め、緊急患者の迅速な受け入れ体制を確保しているところです。

質問〈東腎協〉

「東京ルール」の具体的な内容をお聞かせ下さい。

回答〈医療政策部〉

ルール①は救急患者の迅速な受け入れ。これは救急患者を迅速に医療の管理下に置くと言うことで、地域の救急医療機関が相互に協力連携して、救急患者を受け入れるということです。

内容としては、重症重篤な患者というものは、東京消防庁の方でいわゆる三次救急で、救命救急センターに搬送する。それ以外の入院が必要な患者、もしくは軽傷か重傷か分からない患者につきましては、いわゆる二次医療機関、救命センターのない病院に収容されることになり、救急隊が医療機関を選定して病院に直接連絡してベッドの空き状況などを確認して運びます。

ここで結構時間が掛かってしまったので、東京都では一定のルール、具体的には5つ医療機関を当たって決まらないか、もしくは選定に20分以上要してしまった場合は、「東京ルール」として、地域救急センターというのを指定しまして、そこが必ず受け入れる体制を作りました。

次にルール②ですが、患者の緊

急度に応じて診療の順番を変えるということ、救急の現場で広く周知していくことです。

ルール③は、救急車を要請する都民の理解と参画と言うことで、都民が自らセーフティネットである救急医療というものが重要な社会資源であることを認識していただいて、救急医療を守ることをみんなが理解して、適切な利用を心がける、救急車の適正利用について普及、啓発を行っています。

これに関連しまして、東京消防庁の事業として、救急要請をしたらいいかどうか分からないときは、#7119に掛けて、救急搬送が必要かどうかを相談する。必要な場合は、そこから救急車の手配をするとか、こういった医療機関が良いかを相談して医療機関を紹介してもらおうということもやっております。

質問〈東腎協〉

我々透析患者は、自宅で緊急事態になったときは、救急車に連絡し、自分が透析患者であること、どこで透析を受けているかを言います。しかし、透析クリニックや病院は時間的に深夜、早朝はやっ

ていないことが多い。そういうときに我々が一番困ります。

透析に対応できる二次、三次救急病院でも、2機か3機くらいしか無くて、緊急に透析の必要なほかの患者で一杯になってしまっていて、何カ所もたらい回しにされるといいうケースもあります。

我々は合併症である心筋梗塞や脳梗塞疾患のリスクを背負っており、さらに高齢化で、こういう患者が夜中に亡くなっていくことも少なくない。したがって、毎年救急医療に関して強くお願いしてきているのです。

「東京ルール」にはコディネーターが居ると聞きましたが、各病院に居るのですか？

回答〈医療政策部〉

東京都には12医療圏があります。その地域の保険医療圏の中に幹事病院がありまして、そこが自分で受け入れるか、ほかの医療機関との調整を行っているのがコディネーター（ドクターが対応）です。各保険医療圏に一人ずつおられます。そこで調整できないような場合は、東京消防庁と連携しながら対応しています。

質問〈東腎協〉

「東京ルール」で5件もしくは20分以内に決まらない場合は、強制的に次の病院に送るということですか？

回答〈医療政策部〉

多くは決まりますが、夜間の整形外科系とか高齢施設とか特殊診療とかで、なかなか決まりづらい

4・透析医療の安全について

要請⑩ 透析医療ミスや医療事故、感染症対策の指導を強化してください。

回答〈医療政策部〉

都は病院に対して、医療法の遵守および医療安全管理体制の整備につきまして、定期的な立ち入り検査で助言、指導を行い、医療安全対策の充実を図っております。

透析医療を行っている病院に対しては、透析医療における適切な管理を検査項目として、透析操作に関するマニュアルが整備されて

ケースがあった場合、地域救急センターに連絡してそこで調整してもらおうということです。

東京消防庁の基本的システムは、救急車が病院に収容依頼するとき、救急端末で確認してから連絡しています。しかし、救急端末はおおまかに、「内科、外科、耳鼻科が居ます」となっていますので、特殊診療を要請しても専門医が居ない場合は次にかけるということです。

いること、およびマニュアルの内容や遵守状況について、医療従事者からの聞き取りや病棟ラウンドによって確認し、必要に応じて指導を行っています。

医療ミスによる医療事故で、死亡等の重大な事例や報告、連絡があった場合は、すみやかに立ち入り検査を行っています。事故発生の状況、原因、分析、発生後の病院の対応、再発防止等が適切かつ組織的に行われているかを検査致しまして、医療安全確保の取り組みのさらなる強化について助言、指導を行っています。

感染防止対策につきましては、重点検査項目を設けて指導、強化を行っています。また、使用器材の処理方法等について、病院内をラウンドして担当者に助言、指導を行っています。さらに、病院の担当者が、日頃感染防止対策の基本事項をくりかえし確認できるように、「院内感染対策マニュアル」を作成し、配布しております。

意見〈東腎協〉

医療ミス、医療事故は透析には付き物と言っているくらいで、昨年穿刺部分が抜けて亡くなったという事故がありました。

透析治療は、我々患者もスタッフも一日置きにやりますので、ついマンネリ気味になります。ある程度の危機感を持ってもらう為に、行政の方から医療機関の方に、定期的な透析の医療ミス、事故に対する注意喚起を徹底していただきたいと思っています。

最近は大きな事故はありませんが、小さなミスや事故は、透析医療の中では日常的にあります。透析中は大量の血液（300CCくらい）が体外に出ておまして、ほんのちょっとしたミスが命に関

わります。問題が起きてからではなく、日頃から、行政指導で緊張感を持った医療を行うような指導をしていただきたいと思います。

要請⑪ 計画停電の場合等における透析医療の安全対策を構築してください。

5・要介護透析患者への支援強化

要請⑫ 2012年度までに療養病床28、000床へ増床計画がありました。引き続き療養病床増床と透析可能な療養病床を増床してください。

回答〈医療政策部〉

東京都の保健医療をどのように進めていくかという方向性を掲げている計画としまして、「東京都保健医療計画」を5年に1回策定しております。

現在の計画が、20年度から始めて今年度までで、現在、25年度か

回答〈医療政策部〉

都では、都内病院における停電時の電力確保対策と致しまして、自家発電設備の導入支援を行っています。これによって、医療機関における安全性の向上を図るとともに、停電時における適切な医療体制の確保を行っています。昨年と今年度、2カ年で行っている事業です。

ら5カ年の次期「東京都保健医療計画」の策定に向けて検討しているところです。

療養病床には、医療療養病床と介護療養病床と2つありますが、介護療養病床は29年度までに廃止と法律で決まっています。

医療療養病床は必要と言うことで、現在28、000床を計画としていますが、国の基準病床（一般病床と療養病床の合計で計算）

というのが6月末に出され、都道府県の二次保健医療圏ごとの人口動態や病院だけでなく、福祉施設などのぐらゐ増えたか、高齢化にに応じて入院率がどのぐらゐ増える

かなどの計算方式で計算しています。

増床については、そういうことを踏まえて、検討して行きたいと思っています。

質問〈東腎協〉

28、000の増床計画というのは、3年計画で、24年には終わる予定だったのですよね。

回答〈医療政策部〉

現在の計画は、今年度が終わりで、28、000床の療養病床を方針として掲げていますが、本年4月1日現在で21、647床です。昨年比40床増えています。達成は厳しいというのが現在の状況です。

しかし、20年度から各病院で療養病床を増やす場合に、施設の補助、たとえば、1床増える毎に改修ならばいくら、新設ならばいくらという補助制度を作り、22年度には補助率をアップしました。

逆に、療養病床を持っている病院は、経営がうまくいっている場合は「ガンの緩和ケアについては、このようにやるのですよ」という、医師や看護師向けの機能強化の研

修を21年度から始めています。

23年度からは、一般病床から療養病床に転換したいという病院があれば、そのシミュレーションを東京都がコンサルタントを入札して、病院への転換促進の研修とか療養病床を持つて経営者の方に経営のやり方を研修するなど、毎年度各施策を出して、療養病床が増えるように支援してきております。

意見〈東腎協〉

我々透析患者も高齢化してきて、療養病床というのは大変おきな問題で、通院が出来なかったり、療養病床に入らなければならぬという病状の患者も多く、療養病床の増床に関しては大きな期待を持っておりまして、今後ともご努力のほどお願い致します。

我々透析患者は、終末までやるわけですが、あと2、3年で75歳以上の患者が5割を占めると言われております。超高齢化して、脳梗塞とか足腰の立たない方が非常に多くなってきました。したがって、入院病床に殆ど動けない透析患者がはいって、場所が狭くて入院病床を撤去するという事も起

きています。我々の活動も、高齢対策をどうするかということが大事な問題になってきています。

要請⑬ 高齢化が進む要介護透析患者の通院送迎助成対策を実施してください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

通院送迎の助成につきましては、その対象者やその要件を絞り込むことが、難病以外の疾病との公平性から困難であり、当制度として実施することはなかなか難しいと考えてます。なお、現在身体障害者手帳を所持してる方につきましては、介護人も含め、JR等の鉄道、カーフェリー、航空機の運賃割引制度があり、それらの制度を活用いただきたい。

意見〈東腎協〉

通院送迎の助成については、透析患者は週3回病院に通院しなければならぬという、特殊な事情を抱えており、さらに高齢化によって自力で通院することが出来なくなる患者が、大変多くなってきました。現在では診療報酬の中には含まれていないにもかかわら

ず、各透析施設が通院送迎をやらざるを得ないという状況にあります。しかし、診療報酬に含まれていないので、いつまで送迎が続くのか、これが医療の質の低下に繋がるのではないかと、という危惧を持っています。

超高齢化で、透析導入後即通院送迎という患者が圧倒的に多くなっています。患者がNPO法人を立ち上げて、通院送迎を、患者が患者を送るという形でやっています。

6・臓器移植及び再生医療について

要請⑭ 臓器移植が普及するよう東京都に共催名義の使用承認を受け、毎年開催している「臓器移植普及推進」の予算を増額してください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

東京都は毎年10月の臓器移植普及推進月間に臓器提供意思表示カードやリーフレットとの一体型の意思表示カードを提供してきました。臓器移植普及推進月間では、多くの都民に臓器移植の普及計画

るところが、3、4つあります。自助の精神から、自分たちのことは自分たちでやらざるを得ないですが、そういう団体に対して、理解のある区は助成金を出しているところもある。財政的に助成できる区と出来ない区があり、東京都がバックアップして欲しい。練馬区では患者会が立ち上げた送迎団体が3つほどあり、ここに対して区や社会福祉協議会が助成金を出しています。

を一層推進することを目的として、患者団体東腎協との連携で臓器移植推進キャンペーンを実施するとともに、都内全戸に配布される「広報東京都10月号」や東京都のホームページに臓器提供意思表示カードと解説記事を掲載しております。臓器提供意思表示カードにつきましては、都庁内の総合案内、都の保健所、区市町村、運転免許試験場のほかコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどにも設置、配布しております。昨年度は、都オリジナルデザインによる意思

表示カードを10、000枚作成して、キャンペーン期間中に配布したり、臓器移植コーディネーターによる普及啓発活動に使用しました。今年度につきましても、都オリジナルデザインの意思表示カードを作成する予定で準備をしております。

要請⑮ 腎臓に対する再生医療の研究が進むように国と共に努力してください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

ご要望の腎臓に対する再生医療の研究につきましては、現在、国に於いて研究している事業で、東京都としては、現在研究を予定しておりません。

7・島しょの医療体制の強化

要請⑯ 高齢化している島しょ透析患者の送迎を充実するための補助をしてください。

回答〈医療政策部〉

現在、島しょの医療機関で透析治療を受けている腎臓病患者の経済的負担の軽減を図るため、島しょ地域の透析医療の体制を促進しております。

今後とも、島しょ地域の透析医療体制を支援するために、設備整備費や運営等及び町村が行う医療従事者の確保などを支援して

いきます。ちなみに、来年の秋以降は、いままで神津島と大島、八丈島、新島の町村で行っていましたが、秋以降に三宅島の方でも透析を始める準備を進めています。

意見〈東腎協〉

島しょでは大島に東腎協の会員もいて、いろいろな要望も来ますが、緊急の場合の搬送で、広尾病院へヘリコプターで搬送するというご回答をいただきましたが、島しょには島しょの特殊な事情がある中で、大島でも高齢化で、通院の送迎が大きな問題になってきて

います。少しずつは改善されていますが、都内の患者に比べて恵まれていない、不安なことが多すぎると、特に通院の送迎にご配慮願いたい。

また大島は、アップダウンがきつくて、車が絶対必要です。シャ

8・災害対策の強化

要請⑰ 東日本大震災を教訓にして要援護者に対する災害対策の再点検、強化をしてください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

東京都では災害時の透析医療の活動について、透析機関における平常時からの準備や、透析の継続が困難な場合の患者の受け入れ体制について、災害時における透析医療活動マニュアルを作成し、適切な透析医療の確保を進めています。また、日本透析医学会の災害時透析ネットワーク等関係機関と協議し対応しています。

ントを作る場合でも、我々都内の患者は、3、4時間で日帰りで作れますが、大島では外科の医者が居ないので、本土にヘリコプターで行かなければならない。そういう状況を把握して、安全な体制を作っていただきたい。

要請⑱ 今後の災害時の被害想定から透析患者の長期滞在施設の確保を他県とご検討ください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

災害時に於いて、どの医療機関が透析可能であるかということについては、震源地の違いや二次災害などの影響などにより状況が異なります。また、実際に災害が発生した場合には、患者さんが被災地から近い場所にある施設を希望することも考えられるなど、事前に長期滞在施設を想定して確保することは困難です。

災害時の宿泊施設に關しましては、国や被災県の要請に基づきま

して、近隣県との連携を図り、対応していきたいと考えてます。また、東京都が被災した場合におきましては、避難場所の確保や他県への要請等、適切に対応して行きたいと考えてます。

質問〈東腎協〉

透析中に災害が起きたら、いろいろな問題があります。『災害対策マニュアル』はいつ頃できますか

回答〈保健政策部疾病対策課〉

災害医療ネットワークの方で、

9・就労支援について

要請⑱ 内部障害者、難病患者、長期慢性疾患患者、小児慢性疾患患者への通所ができる就労支援機関の設置を、公共交通機関の便利な23区内に設置してください。

回答〈保政部疾病対策課〉

都では、市町村を実施主体として、職場開拓や準備、職場定着な

福島からの受け入れの活動についてのとりまとめを行っていて、その中身を見て検討しているところなんです。東京都では区とのネットワーク活動も活発にやっていて、そちらとすりあわせて、年内には「マニュアル」にしたいと考えています。

災害時の透析機関の確保というのは、医療機関の体制や他県も含めたネットワークの情報のやりとりの中で、いろんな部分が決まっていって行くことがあるので、その統制を行政がどのような形で支援していくか検討しております。

どの就労面の支援と就労に伴う生活面の支援を具体的に提供しています。障害者就労支援センターを平成24年4月時点では29市町に設置し、今後とも積極的に働きかけて参りたいと思います。

難病患者の就労支援につきましましては、現在、厚生労働省厚生労働科学審議会難病対策委員会に於いて、支援センターとハローワークとの連携強化や、来年の障害者総

合支援法の制定をふまえ、対応を考えて行きたいと思っています。

意見〈東腎協〉

以前は清瀬園の存続をお願いするという項目だったのですが、清瀬園は廃止になりましたので、清瀬園に変わる、内部障害者はじめ難病患者とか長期慢性疾患患者、小児慢性疾患患者の就労支援機関を、公共交通機関の便利な23区内に設置して下さいということです。

産業労働局の方とも話しましたが、透析患者には就労意欲のある患者がたくさんいますが、なかなか今のニーズに合いません。機関でいろいろ勉強させていただいて、社会復帰、就労したいと思っています。清瀬園に変わる新しい就労支援機関を作っていただきたい。廃校とか都の所有する物件を使用するような施設の設置が私たちの願いです。

また、「障害者の就労支援安心生活基盤整備3カ年プラン」で、24億ぐらいの予算が組まれていると聞いていますが、このプランはどうなっているのでしょうか。

回答〈保政部疾病対策課〉

自立支援法に基づく就活サービス事業の整備とかをさせていたでいてるプランです。

意見〈東腎協〉

難病患者の中にも就労意欲のある人はいますが、勉強しないと雇用して貰えないというのが実状です。整備の予算の中に、支援の方向性を考えていただきたいというのが我々の要望です。

要請⑳ 産業労働局にお願いです。時間配慮のほかに、自己管理が厳しく体調維持の難しい透析患者でも就労し、短期離職がないよう定着につながる対策を講じてください。

回答〈産業労働局〉

産業労働局では、東京都の障害者雇用の定着、促進をはかるため、東京都中小企業障害者雇用支援助成金という制度を設けております。この制度は、国の賃金助成であります特定求職者雇用開発助成金の支給期間終了に引き続き、最大2年間賃金助成を行うことにより、定着、促進を図るという制度であります。その他に、東京ジョブコ



質問をする東腎協理事

腎機能障害をはじめ内部障害の方々につきましては、なかなか外見からは障害が分からないと言う

要請② 透析患者をはじめ内部障害者の社会参加に向けて雇用環境整備の確保を継続・推進してください。

ーチ支援事業というものが、これは障害者を雇用するという中小企業や委託権限の現場へジョブコーチを派遣して、企業、働く障害者の双方の課題に対応致して、職場定着を支援しています。

こともありまして、雇用管理上のいろいろな配慮事項というものがあると聞いております。勤務時間もそうだと聞いております。

産業労働局としては、このような雇用上の配慮事項や障害者雇用制度、支援機関等を紹介した事業主向けの「障害者雇用促進ハンドブック」を例年作成しており、障害者雇用の理解促進をすすめております。

今年度は、ただいま制作中ですが、25,000部作成して、障害者雇用の普及啓発のため、ハローワーク、市町村、就労支援機関、企業等へ配布していきます。

また、来年の4月1日からは障害者法定雇用率が2・0％へと引き上げになります。これらをふまえて、より一層普及啓発に努めて参りたいと思います。

意見〈東腎協〉

東腎協としましても就労に関しては力を入れており、高齢化の中で就労意欲のある患者も多く、そういう人達にチャンスがない、働きたいけど、いざとなるとなかなか無いというのが現状です。いろいろな施策をやっていたらいい

るのは分かりますが、普通の方でさえ、就職難で求人も少ない中で、われわれハンディの有る者にとって、より困難になっているのが現実、実態です。

昨年度、15,000社に「ハンドブック」を配布して、助成金制度などの研修会をやっているとお聞きしましたが、中小企業の経

10・その他お願いしたいこと

要請② 腎不全部会に当事者である患者の代表を参加させてください。

回答〈保健政策部疾病対策課〉

特殊疾病対策協議会は難病等の特殊疾病にかかる対策の強化、充実およびその推進を図ることを目的として、腎不全部会につきましても、特殊疾病対策協議会の下部組織として設置されています。各部会の議事につきましては、原則として公開していますので、患者の方および関係者の方のご意見ご要望につきましては、その都度、事務局の方にお寄せいただければ

営者に聞いても、こういう制度があること自体知らないという声も聞きます。

意欲のある人がなかなかチャンスが貰えない、ということだけは相変わらず変わっていないような気がします。今後も産業労働局には、きめ細かなご努力をお願いしたいと思います。

と思います。

現時点で、部会委員としての参加は考えていませんが、会長が必と認めるときには、議事に出席していただいて、代表の方の意見を伺う事で、腎不全対策をより一層充実させていきたいと考えています。

意見〈東腎協〉

平成20年8月26日の東京都特殊疾病対策協議会の腎不全部会に、はじめて傍聴させていただいたのですが、当事者である我々の声も腎不全部会の中で、活かして欲しいと思います。



第15回地域腎友会交流会

日時…8月5日(日)

場所…東京都障害者福祉会館B2
参加者…41名

山口理事の司会により、定刻通り始まった。木下会長より、15回を迎えた交流会に際して、地域腎友会への期待が述べられた。

第一部では8地域腎友会より活動状況が報告され、第二部では地域腎友会のあり方等について、参加者により意見交換がされた。

全腎協青年研修会

日時…8月25・26日(土・日)

場所…ホテルサンルート有明
参加者…宿野部、小関

「コミュニケーション能力を高めよう」の講義とグループ討論会が行われ、青年会議メンバーとの

交流も効果的に行われた。

また、11月7日に東腎協青年部会議を予定し、11月11日の交流会テーマを「透析患者の恋愛と結婚について」とした。

第26回関東ブロック青年交流会

日時…9月29・30日(土・日)

場所…富士レイクホテル
参加者…大串智美(望星田無友の会)、小林正和(昭島腎友会)

第一日目は開催県の井出英済青年部長と横山能梨腎協会長の挨拶が始まり、河口湖畔の観光や懇親会を行った。

二日目は、榊淳整体師による「腰痛対策ストレッチ講習会」の後、関東ブロックの代表を選出した。総評を全腎協の俣野公利さんが行い、梨腎協白須孝規副会長の閉会の挨拶で終了した。

第32回臓器移植普及推進キャンペーン

日時…10月7日(日)

場所…上野恩賜公園
参加者…57名(東腎協役員14名、全腎協職員2名、東腎協会員39名、東京都福祉保健局疾病対策課新井

臓器移植キャンペーン参加の皆さん

キャンペーン準備中の様子



係長、佐藤さん)

午前8時より、テント設営、立て看板、のぼり旗を設置し、10時より榊原理事の司会で、東腎協須賀副会長、共催の東京都福祉保健

局新井係長が挨拶しキャンペーンを開始した。

当日は、朝から雨が降っていたが、午後から晴天の予報だったため決行し、ティッシュ及び臓器移

植チラシ(約3000枚)と風船
(約600個)を配布した。

全腎協相談員研修会

日時…11月3・4日(土・日)

場所…大森東急イン

参加者…岸里次長、各県参加者67名(内オプザーバー10名)

一日目は、全腎協侯野事務局長の司会進行で、全腎協吉村副会長より開会の挨拶がありました。

講演会として「ピアサポート、セルフヘルプとは何か、患者会だからこそできる支援と役割について考える」と題して、昭和大学横浜市北部病院・NTT東日本関東病院臨床心理士の谷口寿美恵先生にお話を頂き、グループディスカッションをして深めました。

二日目は、「透析患者の介護保険サービス利用の現状とこれから」を社会福祉法人施行会青葉台地域ケアプラザ所長の成田すみれさんに、「自己理解を深める」相談員が相談者を理解するために「」を全腎協こころの電話相談担当者の大迫薫さんに講義していただきました。

東腎協40周年記念祝賀会

日時…12月2日(日)

場所…アルカディア市ヶ谷(私学会館3階会場「富士」)

参加者…185名(来賓・招待54名、会員131名)

主催者を代表して特定非営利活動法人東京腎臓病協議会木下久吉会長が挨拶した。

来賓挨拶として、高橋郁美様(東京都福祉保健局保健政策部部長)、斉藤あつし様(都議会民主党総務会長)、山加朱美様(都議会自由民主党幹事長代理)、野上純子様(都議会公明党副幹事長)、大山とも子様(日本共産党都議会議員団幹事長)、西崎光子様(都議会生活者ネットワーク・みらい幹事長)、秋葉隆様(東京女子医科大学泌尿器科・腎臓病総合医療センター教授)、宮本高広様(社団法人全国腎臓病協議会会長)、乾杯を寺岡慧様(公益財団法人日本腎臓財団理事)からご挨拶を賜りました。

歓談、DVD上映、来賓紹介の後、特別ゲストの竜雷太様からご挨拶いただき、表彰式の花束贈呈

にご協力をして頂きました。

【表彰式】

○40年透析者褒賞

高崎豊彦、大場光伴、酒井静子、小越允子へ虎の門・高津会、一ノ清明へ元副会長、元全腎協理事、糸賀久夫へ現監事、篠原榮一へ現監事、筑土隆男へ三軒茶屋病院腎友会、山崎雅和へ代々木病院腎友会、吉島絃子へ中野クリニック腎友会、高藤アツ子へ腎内科クリニック世田谷患者友の会

○功労者表彰

森義昭(元事務局長)、廣瀬惣子へ長期勤続事務局員、加藤茂へ編集ボランティア、一ノ清明へ元副会長、元全腎協理事、糸賀久夫へ現監事

○送迎団体表彰

高山衛士へNPO法人すずらの会、小野崎勝へ練馬・桜台クリニック患者会、李麗敏へ難病者移送サービス・ネット

○協力企業感謝状

バクスター株式会社、扶桑薬品工業株式会社、エルピス株式会社、

ベータ食品株式会社

続いてのアトラクションでは、本格派バンドSOUL - BOSSA UNITE+藤田昭夫さんによる演奏で歓談の後、15時に閉会した。会場では、東腎協の活動と歴史の写真展も開催され盛会の内に閉会致しました。(表3・15頁に祝賀会・スナック写真)

中南部ブロック学習交流会

日時…12月16日(日)

場所…JA東京南新宿ビル

参加者…58名(理事含む)

藤田ブロック長の挨拶の後、飯田橋春口クリニック院長、春口洋昭先生より「シャントを長持ちさせる秘訣」の講演をして頂いた。春口先生のお話はとても分かりやすく、またユーモアにも富んでいました。参加者の皆さんはとても興味深くメモを取りながら、また自身のシャントを見ながら熱心に聞かれていました。

講演の後、希望者のみ残って春口先生に個別にシャントを診て頂きました。

須賀副会長の閉会の挨拶で終了しました。



娘をつれて初のBBQ!

すながわ相互診療所患者会
いずみ 杉崎 奈津女

暑い夏がなかなか去ってくれない9月の初旬、私は3歳になる娘を連れ、初めての「すな診療所会いずみ」主催のBBQ（バーベキュー）に参加するため国営昭和記念公園へ車を走らせました。

小平市在住の私にとって車で立川方面に行くことから、すでにかなりの緊張と疲労感でいっぱいでしたが、小さな娘の胸は躍り、「まだ着かない?」を連呼。

事前に「お医者さんや看護師さんも来るよ」と吹き込んでいたため多少の恐怖感があったものの、耳鼻科の先生じゃない事がわかるととたんに笑顔の娘。

道中、多少の周り道をしつつ無

事にたどり着くと、集合場所には奇妙な一団が。

パジャマ姿でない患者さんとこれまた白衣姿じゃないスタッフ。なんだかとても楽しくなってきた私。

会場に到着すると時間が早かったのか人影も少なげ。幹事さん達が手なれた手つきで会場をセッティングしている横で、子ども達はてんでバラバラ、人見知りを心配していた母の不安は一瞬で吹き飛んだのでした。

子ども達はすぐに打ち解け、なにやら小さな冒険にでも繰り出す始末。そんな様子を見ながら私も早く「すな診」に打ち解けたいなあなんて思っていました。

気付けば宴は始まり、ろくに手伝わなかつた私は完全に出遅れ。それでも「食べたいものは自分で取りに来なきゃなくなるよ!」の一声で肉を捕獲しに焼き場へ赴くのでした。

娘が食べそうなもの、好きなものを確保しアジトへ戻る姿は野生動物と同じ、普段ろくに育児もしていない私も母になったのね、なんてまたしんみり思いながら焼きたてのお肉や野菜を堪能しました。

普段のベッドでの様子とはまた違った、明るい表情を浮かべる患者さん達を新鮮な気持ちで見まわし、皆さんの仲の良い雰囲気心が和みました。

あまり話しかけるのが得意で無い私ですが、診療所以外の場所では患者さん達と交流することで、少しだけ仲良くなれた気がしました。患者会の役員の皆さま、暑い中ずっと焼き場担当してくださった方々、おてんばな娘に付き合っただけで頂いた方々、本当にありが



2012年9月9日(日) BBQ 昭和記念公園
バーベキュー・昭和記念公園にて

とうございました。来年も楽しみにしています。

第六回川柳コンテスト

優人クリニック患者会

川柳係 井上 健史

練馬区の優人クリニックで患者会による六回目の川柳コンテストが開催されました。今回のテーマは「だったらいいな」でした。

テーマがこれまでより難しく、苦戦したようですが、それでも四十八句の応募がありました。

審査員の投票の結果、優秀作品には次の句が選ばれました。川柳では一位から三位を天地人と呼び、五客、秀と続きます。

天 福島にすべての人が
戻ったよ 倉持克己
地 このことは無かったことに
食べたあと 富田兵衛
人 ぜい肉を集めて夢の
Fカップ 丸山みね子
五客 放射能無害化できる
技術でき 倉持克己
五客 わが妻と娘がやまと
なでしこに 富田兵衛
五客 ひとぬりし一晚寝たら
しわが消え 丸山みね子

五客 熱帯夜牡丹灯籠

来てくんな

木卯

五客 世界旅透析とれて

ゆうゆうと

久保光子

今回はご多忙の中、院長先生も参加され、地と五客に入選しました。さすが！

世が世なら高尾を落籍（ひい）て
侘び根岸 木卯

右の句はわかりにくいいため上位入選は逃しましたが、隠居して根岸の里に侘び住まいをしたいものだとして述べています。

木卯さんは江戸文学の専門家で、コンテストには、毎回江戸時代をベースに句を捻っています。江戸文学のホームページも開設していて、ペンネームの「喜三三」で検索すると見ることができます。

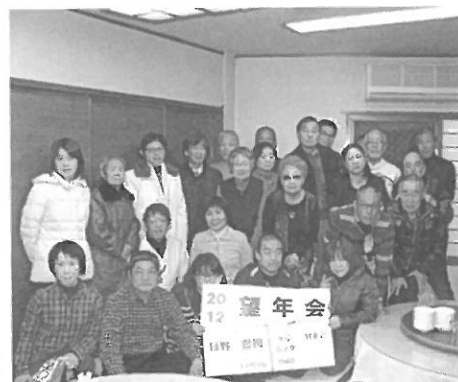
望年会に出席しました

豊田クリニック患者会

ゆりの会 北川 友利子

望年会を行うので出席しませんかとお電話をいただきました。

私は11月20日に白内障の手術を



12月9日（日）日野・豊田クリニックの望年会

受けることになっていましたので……さて出席できるか自信がありませんでした。

手術を済ませてから参加の気持ちが強くなり、是非とも皆さんと一緒にいたいと思い、豊田の患者会の皆さんも合計6名の参加希望を得ました。

午後3時から会が始まり、今年も来年も良い年でありますよう、望年会に「カンパイ」各自、自己紹介。食事の中盤に入り「ビンゴゲーム」ワイワイガヤガヤ……とても楽しいひと時でした。

日野クリニック腎友会の皆様のご努力に感謝いたします。日頃のいろいろなご連絡ありがとうございます。そして、今後ともよろしくお願いいたします。



戸倉記念委員長のあいさつ



大田病院腎友会の皆さん



40年透析表彰者の皆さん



ご招待者の皆さん

東腎協40周年記念祝賀会・スナップ―2012年12月2日（日）

施設紹介

南青山内科クリニック

他施設とも連携を深めながら
腎疾患全般の情報提供や治療・相談などを幅広く展開



当クリニックの理念

南青山内科クリニックは、東京都港区の南青山7丁目を拠点とし、診療を行っております。ゆつくりと着実にこの地に根ざしながらこの地域のお住まいの方々やご通勤・ご通学の方々へ、また、少し遠方でも来院していただける方やご旅行でこの南青山近郊にいらした方へ、内科一般から多くの日常に関する医療、そして腎疾患全般の情報提供や治療や相談などを幅広く展開しております。生涯元気に笑顔ではつらつとして生きて行きたいと思うのは、皆様の願いではないかと思えます。

診療内容

最近、話題になっている生活習慣病とは、糖尿病・高血圧・高脂血症・高尿酸血症・睡眠時無呼吸症候群などを代表とした、身体に悪影響をもたらす生活習慣により、引き起こされる疾患のことです。現代では、過食・運動不足・肥満・ストレス・睡眠不足などから引き起こされるこのような生活習慣病により、

多くの病気を発症し、そのことから重い病気を引き起こしてしまうこともあります。そこで、当クリニックにお越しいただいで、症状のないままひそかに進行していく生活習慣病の防止を行っていただくための情報提供と治療を行っています。そのためには、皆様に自分の身体や生活状況をまず知っていただき、ご自分にあつたさらに質の高い生活を送っていただくことが大切だと考えます。日常生活全般から、現在の身体の状態を分かりやすく説明させていただき、病気を予防し前向きに有意義な生活をお過ごしいただくために、このクリニックを利用していただければ幸いです。

私は、腎臓内科を専門とし、多くの慢性腎臓病・慢性腎不全の患者様を診療してまいりました。腎臓病は、多くの場合、症状がなくゆつくりと生活習慣病の増悪とともに進行してしまうことが多く、すでに症状が出てきたときには、透析療法や腎移植などの腎代替療法を行っていかねばならない時期になっていることが多いのです。そのため、自分では気がつかないタンパク尿や血清クレアチニンの軽度上昇などの早期の段階で、御自分の身体の状態を知っていただくことが大切だと思います。そのために、お気軽にクリニックに足を運んでいただき、予防できることを実行していただく機会を作ってほしいと思っております。

やむなく、腎代替療法を必要とされる方や、

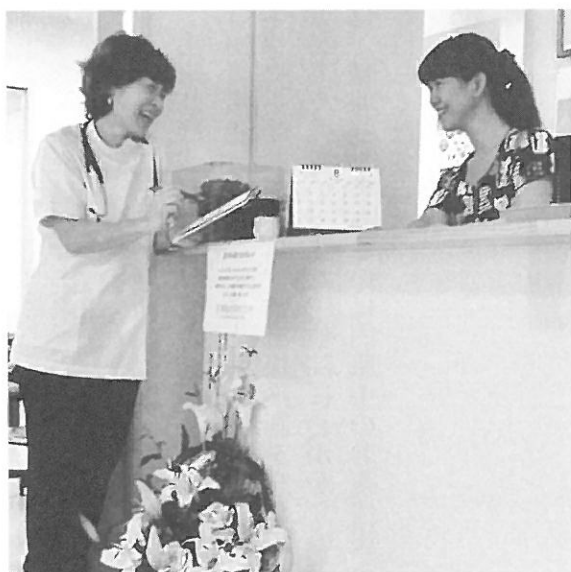
また、透析治療を始められた方や腎移植をなさりたい方やなさった方など、お気軽にお話しにお越しいただき、現在の御身体の状態や予後を、出来る限り情報提供を行っていきたいと思っております。腎疾患は増悪すると、生涯にわたり、この疾患と上手に付き合っていかなければならず、個々人にあった治療選択を早期に行えるように情報提供をしていかなければならないと多くの患者様を拝見して思っております。

私は長らく、腎疾患を抱えた患者様を拝見し、残念に思うことがあり、この残念に思うことのない医療を展開したいために開業したと言っても過言ではありません。残念に思うことの①自分では気がつかないタンパク尿や血清クレアチニンの軽度上昇などの早期の段階で、御自分の身体の状態を知っていただくことが大切だと思われまます。症状のない軽度の腎疾患の患者様の中に、腎臓についての情報も触れる機会を逸して、ご本人が知らない間に腎臓病の悪化をもたらしてしまう結果となってしまう方々が多いことは、非常に残念に思います。

もうひとつは②腎代替療法が必要な時期にほとんどの方が何の情報もなく内シヤントを作成し施設血液透析を開始してしまうことは非常に残念に思います。その方法以外に腹膜透析や、血液透析と腹膜透析の併用療法や、在宅血液透析や腎移植もあることを情報提供していくことが、非常に大切であると思つて

おります。患者様おひとりおひとりの異なった生活志向や人生の目標があるはずであり、買物をする時に自分の好みの洋服を選択するように、患者様がより良い生活の質の向上（QOL）のために、治療の選択が出来る環境を持つていただくべきだと思っております。そこで、当クリニックは腎臓病の予防と腎代替療法選択に対しての情報提供でお役に立ちたいと思ひます。腎臓病の悪化で透析療法や腎移植治療などの腎代替療法をしなければならぬ方においても、すでにこれらの治療をなさっている方においても、セカンドオピニオンとしても当クリニックを利用していただきたいと思ひます。

いずれにいたしましても、皆様の有意義な人生を送っていただくためのお手伝いが出来る



ればこの上なくうれしく思います。

私と医療

私が、医療の部門で働きたいと思ったのは直接、患者様と目と目を見ながら、顔と顔を合わせながら、気持ちを共有しあいながら、良質な医療を提供することで、患者様に喜んでいただける機会があったとき、もっとも幸福感と充実感を持つことができるからです。このような仕事からこのような気持ちをたくさん得るために、臨床的な勉強を重ねていく必要があるとの信念を持って、がんばっています。

また、他の専門施設が必要な場合や入院が必要である場合は、他施設との連携を深めながら情報提供を的確に行っていきます。お気軽に相談にいらつしゃって、お気軽にお話をさせていただけることを、お待ちしております。（詳しくはホームページを参照してください）
http://www.minamiyama-medical.com/

診療科目・診察内容

一般内科・風邪や下痢の症状から糖尿病・高血圧症・高脂血症・睡眠障害・禁煙外来・更年期障害など対応
腎臓内科・タンパク尿やクレアチニン値の軽度上昇から、慢性腎不全まで、あらゆる腎疾患に対応

人工透析治療・血液透析装置が設置されており、在宅血液透析患者様の指導、血液透析と

腹膜透析の併用療法を行っている患者様、腹膜透析を行っている患者様を対象とした透析医療施行

腎移植・腎移植をご希望される患者様への情報提供と、腎移植前後の患者様の診療施行腎疾患治療全般についての、セカンドオピニオン施行

他の循環器内科・呼吸器内科・消化器内科にも対応（検査や入院が必要な場合は、連携病院を紹介いたします）

自由診療・仕事に疲れた方にプラセンタやビタミン注射、自信に満ちた質の高い生活を求めて、ED・AGA（思春期以降の男性の進行性の脱毛症）についての外来施行

診察日・診察時間ののご案内

初診はいつでも、御来院していただきたいと思いますが、お電話いただければ幸いです。また、慢性疾患については、予約をさせていただきますので、ご了承ください。

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
10-14時	○	○	○	×	×	○	○
14-18時	△	△	○	×	△	○	△

○は診療 △は予約診療（○の時間にTEし予約をお願いします）
祝日は休診

（注）往診中など不在時がありますから、事

前に電話連絡（TEL 03-6805-1836）をお願いいたします。

はじめての患者様へ

出来れば、お電話で連絡をいただくとスムーズな受診が可能であると思います。当クリニックを受診の際は、健康保険証を忘れずにお持ちください。また、他院におかかりの方は、情報提供書あるいは内服中のお薬情報をお持ちください。

院長紹介



鈴木 孝子
(すずきたかこ)

（略歴）

平成4年3月	長崎大学医学部医学科卒業
平成12年3月	東京大学医学部医学系研究科 内科専攻博士課程 終了
平成4年6月	東京大学医学部附属病院 勤務
平成5年6月	東京日立病院 勤務
平成6年6月	社会保険中央総合病院 勤務
平成7年6月	東京大学医学部附属病院 勤務
平成13年6月	高島平中央総合病院腎臓内科

部長 勤務

平成15年6月 森山リハビリテーション病院

腎臓内科部長 勤務

平成19年4月 駒込共立クリニック院長

勤務

平成23年6月より 南青山内科クリニックを

開業し院長として勤務

（追記）

今回お邪魔したのは、渋谷駅から都営バスで10分ほど行った六本木通りに面したところにある南青山内科クリニックです。

私と鈴木院長の出会いには森山リハビリテーション病院に腎臓内科部長として勤務されていた平成15年から19年頃の主治医でした。先生の真剣な医療の取り組みは患者に直接反映されていてドライウエイト、リン、カリウム等非常に厳しい先生でした。あまり管理の出来ない私は先生に取っては厄介なまたかわいい患者？だったのではないかと自分では思っております。

先生が開業した思いは前々から聞いておりましたが、17頁11行目からお書きになっている通りだと思います。我々透析の通常は内シヤントを作り血液透析に入る流れがほとんどですが、先生は腹膜透析や在宅血液透析、また腎移植に関しても個別の生活状況に即したご提案をして頂ける先生ですので、QOLの向上をお考えの方はご相談されてみてはいかがでしょうか。

（岸里）



南青山内科クリニック

〒107-0062

東京都港区南青山 7-8-8-101

電話 03-6805-1836

FAX 03-6805-1836

【表参道駅から】(徒歩13分)

- ① 営団地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線の「表参道駅」を下車し、B1出口から地上にでる。
- ② 青山通りを渋谷方面に100mほど歩き南青山5丁目交差点を左に曲がって骨董通りに入る。
- ③ 骨董通りを10分ほど歩き、突き当たりの高樹町交差点の地下道を通して六本木通りを渡る。
- ④ 地下鉄の突き当たりを右側の階段から出て、六本木通りを渋谷方向へ約1分歩くと当クリニックです。

【渋谷駅から】(バス約10分、バス停から徒歩約2分)

- ① J R 渋谷駅東口バスターミナルの51番乗り場から都営バス「都01系統・新橋駅行き」に乗る(バス停はJ R 渋谷駅東口を出て左側にあります)。
- ② 2つ目の「南青山7丁目」の停留所で降りる。
- ③ バスを降りたら前方にある高樹町交差点の地下道を通して六本木通りを渡る。
- ④ 地下道の突き当たりを右側の階段から出て六本木通りを渋谷方向へ約1分歩くと当クリニックです。

【六本木駅から】(バス約8分、バス停から徒歩約1分)

- ① 営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線の「六本木駅」を下車し、出口3から地上に出る。
- ② 六本木駅前バス停から都営バス「都01系統・渋谷駅行き」に乗る。
- ③ 3つ目の「南青山7丁目」停留所で降りる。
- ④ 六本木通りを渋谷方面に100mほど歩くと当クリニックです。



協力 渡辺好徳・渡辺典史



次回に続く

リレーエッセイ

新年を迎え、東腎協の発展のため微力ながら頑張ります

NPO東腎協理事会 オブザーバー 板橋 俊司



1950年、五人兄弟の次男末っ子として調布市に生まれる。

10歳の夏、突然の血尿で慈恵医

大付属病院に入院。九

ヶ月の入院生活の後、

慢性腎炎と診断され、

小学5年ではや留年。

以来30歳くらいまで、

5年置きに入院するも

の、掛かり付け医も

無く普通に生活する。

大学入試で一浪した

こともあって、他人よ

り二年遅れの人生への

焦りと、当時の「学生

(日野クリニック腎友会)

運動」の嵐に吞まれ、大学四年で中退、24歳の誕生日に結婚し、一男二女を儲ける。

二年遅れの人生の始まり

所詮50年くらいの人生だろうと割り切り、自分の人生の可能性に最大限に挑戦してみたいと、勤務先の印刷会社の倒産を機に、1978年広告企画デザイン会社を起業する。

30、40代は東京の中小企業家団体の役員やら青年部活動に没頭。とはいえ中小零細企業、社長だろ

うが営業、財務、総務と八面六臂の日々。私の人生の中でも最も充

実した時期であった。

89年に縁あって、ある学術系出版社を経営することになる。しかし、バブルの弾ける音を聞きながら徐々に業績も悪化、同時に、40年近く騙し続けたわが肉体もいよ

いよ悲鳴を上げ始め、事業を譲渡・縮小し、「その日」に備えた。

2000年に入り、腎性痛風、尿毒症による湿疹、貧血が頻繁に起こるようになり、都立墨東病院に駆け込んだ。5年の保存期間を経て、55歳の夏、シャント準備のための入院中にクレアチニンが8を超え、いよいよ透析開始。地域の相談員のアドバイスで腎友会を知り、千葉県の個人会員となるが、当時のクリニックには患者会は無く、腎友会の歴史も活動内容も分からなかった。

四年前に、馴染みのある日野市(日野高校卒、新婚時代に居住)に転居し、日野クリニックに通院。患者会に誘われ、昨年、日野クリニック腎友会の設立とともに会長になりました。

生涯のテーマに出会えた喜び

実は、若き頃に学生運動や経営者団体の活動に夢中になって、自分を見失った反省から、残りの人生は「静かに生きよう」と思っていた矢先だけに、役員になったりすることはあまり積極的ではありませんでした。しかし、腎友会の歴史や人工透析を巡る環境を知

るにつれ、「透析で得られた残りの人生を、腎友会運動と共に生きよう」と思うようになりました。

現在62歳。透析導入前5年間くらいが肉体的に結構辛かったが、導入8年目の今では、ゴルフやボウリングや卓球などスポーツも出来るようになったし、飲酒も程々に嗜んでいます。普通に透析生活を続けていけば、あと10年や20年は生きていくことになると思います。あつという間かも知れないし、とても長い時間かも知れない。いずれにしても、たった一度だけの人生の締めくくりとして、「腎友会運動」という生涯のテーマに出会えたことはこの上もない喜びです。

私の地域、日野市にも三つ目の患者会(市立病院)が新たに結成されるようです。将来的には「日野地域腎友会」を結成して、日野市行政への政策・予算要請、他団体との連携などにも取り組めたらと思っています。

東腎協も40年を迎え、会員の減少、後継者不足、将来的ビジョンなど課題もたくさんあります。年頭に当たり、新米理事ではあります。すが、新たな気持ちで「腎友会運動」に尽力できればと思います。

2011年度・慢性透析に関する資料表

日本透析医学会による毎年末の統計により、私達透析患者の現況が集計されています。
統計調査対象施設数は全国の4,255施設で回答施設数は4,205施設、回収率96.2%ということです。
これは東京都に關係するものを会員の参考資料として抜粋して掲載させていただきました。

1. 施設数 4,205施設 (39施設増 0.9%増)
2. 設備 ベッドサイドコンソール 121,835台 (3,213台増 2.7%増)
3. 能力 同時透析 119,902人 (3,083人増 2.6%増)
最大収容能力 405,504人 (9,780人増 2.5%増)
4. 慢性透析患者 304,592人 (6,340人増)
 昼間253,722人 夜間40,917人 家庭透析327人 CAPD9,626人
 導入患者数 38,392人 (957人増)
 死亡患者数 30,831人 (1,949人増)
 5年未満透析患者数 男 92,641 女 48,134 不祥 3 計 140,778
 5年以上10年未満透析患者数 男 46,739 女 27,970 不祥 0 計 74,709
 10年以上15年未満透析患者数 男 22,112 女 15,336 不祥 0 計 37,448
 15年以上20年未満透析患者数 男 11,067 女 8,414 不祥 0 計 19,481
 20年以上25年未満透析患者数 男 5,667 女 4,934 不祥 0 計 10,601
 25年以上透析患者数 男 6,393 女 5,409 不祥 0 計 11,802
 人口100万対比 2,383.4人 (54.3人増)
5. 最長透析歴 43年7ヵ月
6. 導入患者平均年齢 67.8歳 男性66.9歳 女性69.7歳
7. 導入患者原疾患
 ①糖尿病性腎症 16,971人 (44.2%) ②慢性糸球体腎炎 7,823人 (20.4%)
 ③腎硬化症 4,482人 (11.7%) ④多発性のう胞腎 968人 (2.5%)
8. 2011年末患者平均年齢 66.5歳 男性65.8歳 女性67.9歳
9. 2011年末患者原疾患
 ①慢性糸球体腎炎 102,407人 (34.7%) ②糖尿病性腎症 107,985人 (36.6%)
 ③腎硬化症 23,164人 (7.9%) ④多発性のう胞腎 10,067人 (3.4%)
10. 2011年死亡患者の死亡原因分類
 ①心不全 7,644人 (26.7%) ②感染症 5,827人 (20.3%)
 ③悪性腫瘍 2,622人 (9.1%) ④脳血管障害 2,193人 (7.6%)
 ⑤その他 2,418人 (8.4%) ⑥心筋梗塞 1,335人 (4.6%)
 ⑦悪液質／尿毒症 1,127人 (3.9%) ⑧カリウム中毒／頓死 843人 (2.9%)
11. 1983年以降導入患者生存率
 1年87.7% 5年60.3% 10年36.2% 15年23.7% 20年16.3% 25年14.1%
12. 2011年東京における透析患者数 29,135人
 昼間23,126人 夜間4,930人 家庭透析27人 CAPD1,052人
13. 透析液エンドトキシン検査
 毎日検査・19施設 毎週・112 隔週・179 毎月・2,599 年数回・547
 年1回・417 なし・167 記載無し・29 不明 99 合計4,169施設
14. 透析液細菌数 (cfu/ml)
 0.1未満・2,015施設 0.1～617施設 1～604施設 10～273施設
 100～62施設 不明226施設 記載無し372施設 合計4,169施設

(以上、日本透析医学会調べ2011年12月31日現在)

(抜粋 岸里)

❖・30年透析会員のお名前(2012・平成24年度)・❖

おめでとうございます。これからもがんばって!

会 員 名	透析導入年月日	患 者 会 名
㊦安立 勇	S57(1982年)12月22日	虎の門・高津会本院
㊦植木 幸江	S57(1982年)6月29日	あかまつ透析クリニック患者会
㊦神谷 弘子	S57(1982年)7月7日	織本病院腎友会
㊦栗原 重厚	S57(1982年)2月 日	あけぼのクリニック友の会
㊦樋場 嘉晴	S57(1982年)6月14日	聖橋クリニック腎友会
㊦中原 勉	S57(1982年)10月27日	聖橋クリニック腎友会
㊦三浦 忠蔵	S57(1982年)9月1日	聖橋クリニック腎友会
㊦黒瀬 由美子	S57(1982年)10月5日	秋葉原腎クリニック腎友会
㊦小林 ひさ子	S57(1982年)2月15日	昭島腎クリニックひまわり会
㊦深水 千代子	S57(1982年) 月 日	優人クリニック患者会
㊦塩谷 泰子	S57(1982年)12月30日	調布病院腎友会
㊦平岩 正男	S57(1982年)3月31日	鶴田クリニック友の会
㊦富山 クニ	S57(1982年)6月 日	瑞江腎クリニック腎友会
㊦橋本 多起子	S57(1982年)1月12日	三軒茶屋病院腎友会
㊦伴 カズ子	S57(1982年)12月17日	松和患者会西新宿支部

私たちの医療と福祉を守るため
ぜひ東腎協に加入しましょう

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556 郵便振替口座 00150-O-128390

会員・ご家族の皆様旧年中はお世話になりました。本年もよろしく
お願い申し上げます



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 理事会一同

今後の活動予定

2月10日(日)	多摩ブロック学習交流会(立川アイム・Fホール)	5月18日(土)	全腎協第51回通常総会(仙台 紅陽グランドホテル)
2月16・17日(土・日)	全腎協第103回理事会	5月19日(日)	全腎協全国大会(仙台サンプラザホール)
2月24日(日)	83回理事会	5月26日(日)	第86回理事会(場所未定)
2月27日(水)	市民公開講座講演会「生活習慣病としての慢性腎臓病治療」(ホテルメトロポリタン 富士)	6月6日(木)	全腎協創立記念日(全腎協事務局 休日)
3月2・3日(土・日)	全腎協第50回総会(大森東急イン)	6月8・9日(土・日)	全腎協第105回理事会(神戸)
3月7日(木)	世界腎臓デー	6月16日(日)	第87回理事会(場所未定)
3月17日(日)	第24回腎臓病を考える都民の集い(都庁第1本庁舎会議室5階)	6月21・23日(金・土・日)	日本透析医学会(福岡)
3月21日(木)	第42次国会請願	6月23日(日)	第8回総会(戸山サンライズ大研修室・控室)
3月24日(日)	84回理事会		
4月13・14日(土・日)	全腎協第104回理事会(神戸)		
4月28日(日)	第85回理事会(場所未定)		

表紙の言葉

つばき

加藤 茂

葉っぱの陰に隠れている一つの間に花が咲いているーつばきの花を見つめるたびに感じることです。常緑葉で葉っぱが冬でも枯れることがなく、葉っぱの方が目立ってしまうのでそう感じてしまうのかも知れません。

つばきによく似ているのがサザンカです。寒くなつてこれから本格的に冬に向かうときに勢いよく咲いていくので印象の強い花です。サザンカの咲くのをみると、寒さに自分も負けないようにがんばらねば、と思うのです。

つばきとサザンカの大きな違いは、花そのものがポロリと落ちてしまうのがつばき、花びらがこぼれ落ちるのがサザンカです。しかし、なかなか見分けがつかないこともあります。

つばきの花言葉は、「理想の愛、謙遜」。赤いつばきは、「控えめな愛、気取らない美しさ」。冬から春にかけて咲くつばきの花には、何事にも負けないたくましさを感じます。

特定非営利活動法人東京腎臓病協議会賛助会員入会のお願ひ

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から37年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもいらつしやいます。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えていただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費…個人年額5,000円、団体年額1口10,000円/1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「東腎協」に掲載させていただきます(但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます)。

事務局から

ご寄付お礼

扶桑薬品工業(株)

○東京第一支店様(8月~1月)

○エルピス株式会社様

○濱本文子様

濱本嘉信様ご逝去により生前患者会にご協力いただきましたことを感謝致します。

ご寄付ありがとうございました。

青い鳥葉書(切手) ご寄付一覧

【患者会】

代々木病院腎友会、

竹口病院腎友会、

桑の実会、

南大沢パオレ腎友会、

すながわ相互診療所患者会いずみ

【個人】

末崎 美子

(1月10日現在まで分、敬称略・順不同)

葉書・切手等は沢山使用しますのでいつでもご寄付受け付けておりますので、今後共よろしく願います。

「ありがとうございました」

会費納入のお願い

常日頃より東腎協活動にご理解ご協力ありがとうございます。

会費納入のお知らせ、振込用紙をご送付させていただきました。

まだ、未納の患者会、個人会員の方がおられましたら、2月末(決算月3月)までにお振込みよろしくお願い致します。

青い鳥葉書ご寄付のお願い

葉書を受領して使用しない方はNPO東腎協までご寄付いただきたくお願い申し上げます。

葉書は、毎年4月・5月頃に郵便局窓口へ、身体障害者手帳を持参し、必要事項を記入することで受領できます。

今後共よろしく願います。

第42次国会請願署名あり がとうございました

皆様から寄せられた、国会請願署名は3月21日(木)が国会請願行動日になっておりますので、皆様の署名を国会議員にお届けいたします。

NPO法人東京腎臓病協 議会 第8回総会・大会 のご案内

第4回総会で決定した通り、定

款を遵守し、正会員のみで行います。大会に関しては会員どなたでもご参加いただけます。

第8回総会・第3回大会を左記のとおり戸山サンライズ大研修室において開催します。

日時・2013年6月23日(日)

総会受付開始 9時30分

時間 10時~12時(総会)

13時~15時(大会)

会場 戸山サンライズ大研修室

住所 新宿区戸山1-22-1

TEL 03・3204・3611

交通 ●首都高5号線早稲田出口より15分

●「東西線」早稲田駅下車徒歩約10分

●「大江戸線」若松河田駅徒歩約10分

賛助会員の名刺広告につ いて

通常、毎年1月号に掲載させていただいてありますが、記念誌の編集で作業が間に合いませんので、

勝手ながら5月号(予定)に掲載とさせていただきます。

40周年記念事業委員会か らのお知らせ

機関誌「東腎協」No.194(7月号)で40周年記念誌が12月に発行予定とお書きしましたが、岸里編集長が多業務にわたり兼務しているため発行が遅れていることをお詫び致します。

編集後記

今号から編集委員になりました板橋です。事務局にいると色々なことが見えてきます。会員さんからの相談事から委員会活動の準備等々、事務局の大変さがよく分かります。私も少しでもお役に立てればと決意を新たにしました次第です。

(板橋)

本年は東腎協設立40周年を迎え会員の皆様にはご理解ご協力感謝致します。今後、実態調査、40周年記念誌の配布を進めて参ります。また、今後ますます厳しくなると思われる医療助成・福祉制度等の諸問題を考え広報して行く事が使命なので取り組んで行きます。

(岸里)

選ばれているのには理由があります。
頼れるコエンザイムQ10・
L-カルニチンサプリ...

新

Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

カラダに♡
とって大切です。

コエンザイム
Q10
60mg*

L-カルニチン
120mg*

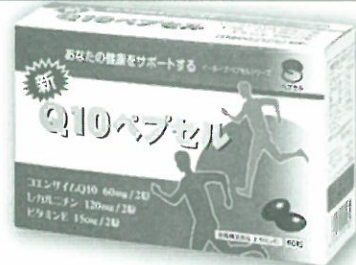
ビタミンE
15mg*

でも、加齢と
ともに
不足します。

*配合栄養成分
(2粒当たり)

こんなことで
お困りでは
ありませんか?

倦怠感、血圧低下、息切れ、
筋肉のツリなど...



イーホープペプセルがお届けする
基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し
販売価格 2,800円

★一家族
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

★ペプセルシリーズは定価の5%引きで
毎月発送致します。
★全て税、送料込み(離島を除きます)

商品の
お求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00
フリーダイヤル 0120-266-910

不老(フロー) Q10(キューテン)

FAXで 078-231-0330
ネットで <http://www.clubshop.jp/>

イーホープペプセル 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワビュアビル803 平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。

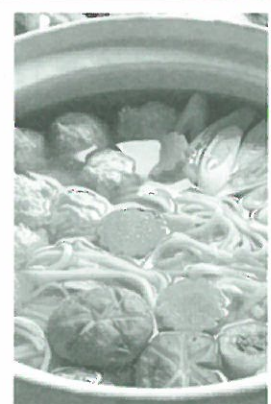


美味しさはそのまま 食塩をまったく使わない

旨い!! 塩分ゼロシリーズ

ふっくらと弾力のあるうどん、
風味の活きたそばは、
お塩が入っていないので
温かい麺料理へ直接入れても
スープの味が変わりません。

薬味や具材の旨みとあわせて
食塩不使用の乾麺で減塩生活!!



ご注文・お問い合わせ先
はくばくお客様相談室
〒400-0598 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺1351
TEL 0120-089890
受付時間8:30~17:30(土曜、日曜、祝日は除く)
ホームページ <http://www.hakubaku.co.jp>

お客様の声
食べる前は「塩分が足りないのでは?」と思
いましたが、食べ
てみると、むしろ
薬味の味が活きる
ように感じました。
40代 Yさん

お客様の声
こしがあっておい
しく、本当に乾麺
だったの?と思っ
てしまいました。
30代 Sさん

塩分ゼロそば

塩分ゼロうどん



美味しさと笑顔は明日への活力!

皆様の健康生活をサポートします。

エルピス

栄養ドリンク

栄養機能食品
亜鉛

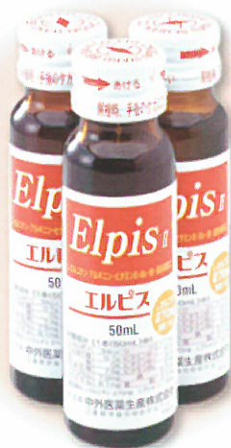
内容量:50ml/瓶 1日の目安量:1本

発売元:エルピス株式会社 製造元:中外医薬生産株式会社

販売
価格

1箱50本入り 10,500円(送料・税込)

1箱10本入り 2,490円(送料・税込)



健康を守るアミノ酸
アルギニン・BCAA増量

安心・安全を追求
合成保存料
無添加

栄養ドリンクエルピスとコエンザイム粒は、皆様の栄養補給を目的に開発された製品です。皆様に不足しがちな栄養成分や健康維持に必要な栄養成分をバランスよく配合しています。皆様の健康で快適な透析生活を維持するためにご利用ください。

配合栄養成分(1本50mlあたり)

L-カルニチン	270mg	ビタミンB群	33.4mg
BCAA	180mg	(B1・B2・B6・B12・葉酸・ナイアシン・パントテン酸)	
L-アルギニン	160mg	ビタミンC	30mg
アスパラギン酸	60mg	鉄	5.3mg
リジン	50mg	亜鉛	3.1mg
α-グルテン	50mg		

注目の栄養素 アスタキサンチン 新配合

栄養補助食品

コエンザイム粒

販売価格 1箱 3,850円(送料・税込)

内容量:60粒/1箱 1日の目安量:1~2粒
ソフトカプセル(1粒400mg)

発売元:エルピス株式会社 製造元:日水製薬株式会社

栄養成分(1粒400mgあたり)			
コエンザイムQ10	30.0mg	EPA	15.0mg
ルチン	30.0mg	DHA	6.0mg
アスタキサンチン	1.0mg	パントテン酸Ca	2.0mg
リコピン	1.2mg	ビタミンB1	2.0mg
ビタミンE	13.0mg		



うるおいとハリのある毎日のために

うるおい

新発売

皮膚・肌・粘膜の健康維持を助ける栄養素

“ビオチン”

配合の栄養機能食品です。

低分子コラーゲン・セラミド・プラセンタエキス配合



うるおい粒

栄養機能食品

販売価格 1箱 5,250円(送料・税込)

内容量:180粒/1箱(1粒300mg)
アルミパウチ90粒入り×2袋 1日の目安量:6粒

発売元:エルピス株式会社

ご購入・
お問い合わせ

0120
FreeDial

0120-393-578

エルピス株式会社 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18-27

【受付時間】
平日:9:00~18:00
土・日・祝祭日休業